【研修会報告】

精神障害者支援実践研修を11月28日（火）に栃木精神保健福祉センターで行いました。県内各地から42名の方がご参加くださいました。平日のお忙しい中、ご参加いただきました皆様に感謝申し上げます。また、今回の研修を開催するにあたり、共催してくださいました、県やしお会の皆様におかれましては、ご協力を賜りましたこと、重ねて御礼申し上げます。

今回の研修は『精神障害を持つ方々の生活とその想い』をテーマに、体験談をもとに支援とは何かを考え実践につなげていく事を目的に、2部構成での研修を企画しました。

第一部では、下野市にある、地域活動支援センターゆうがおに所属するピアサポーターの皆様にご協力いただき、3人のピアサポーターさんが病気の体験とリカバリー（回復）ストーリーについて、所属チームのスタッフと共に行う、トークセッションを聞いて頂きました。第二部では、ピアサポーターさんを入れたグループワークを行い、さらに理解を深めていく形をとりました。

ピアサポーターさんから直接、治療のことや支援者への思い、ピアサポート活動を通じて起きる葛藤など、様々なお話を聞く時間を多く設けた事もあり、参加者から頂いたアンケートでは、満足度の高い声が寄せられました。また、参加者同士の交流や意見交換も活発に行われ、新たな視点やアイデアを得ることができたとの感想もありました。

研修会の学びを持続的に活用するためには、今回の研修での気づきを各自が日常業務において積極的に取り入れていくことが重要です。

今後も継続的な学びと成長を目指して、研修会を企画していけたらと思います。